

## 第 2 回廃棄物専門委員会における委員発言項目等

委員名	発言項目等	計画等における対応案	本文掲載箇所
中村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業系一般廃棄物は経済活動とは別であり、減らすことが可能では。</li> <li>・環境認証制度登録を進める施策が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御意見を踏まえ目標値を修正。産業廃棄物排出量と同様、事業系一般廃棄物は増加が見込まれていることから、施策の実施により H30 年度実績値の維持を目標とする。</li> <li>・研修会等を通じて周知を実施。</li> </ul>	資料 3
磯貝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境認証取得について行政から資金面の援助があれば導入が進むのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政的援助は難しいが、認証取得のメリットを研修会等を通じて周知。</li> </ul>	
浅利委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物に関しては市町村の意向が大きい。市町村計画との整合も必要ではないか。</li> <li>・目標値の根拠が不明確では。あるべき姿からバックキャスト的な考え方もあり得る。</li> <li>・2050 ゼロカーボンにおける廃棄物処理や循環はどのように位置付けられるか。</li> <li>・目標項目の過不足の検証も必要か。</li> <li>・プラスチック関係の目標があった方がよい。</li> <li>・「食品ロスの割合を調査したことのある市町村数」9 は寂しい印象。もう少し積極的でもよいのでは。</li> <li>・災害廃棄物処理計画策定市町村数について、意欲的な目標値とすることは可能か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村からの意見聴取は法定事項。中間報告後に市町村への意見照会を行い、計画への反映を検討。</li> <li>・別添にて目標値の考え方を整理。</li> <li>・3R の推進、ごみの分別収集の推進、環境美化活動の取組、環境教育・環境学習などにより CO<sub>2</sub> の排出抑制を行う。</li> <li>・別添にて目標値の考え方を整理。</li> <li>・「信州プラスチックスマート運動協力店舗数」を追加する。</li> <li>・御意見を踏まえ目標値を修正。市町村アンケートにて調査を「実施している」「今後検討予定」と回答した 14 市町村で実施を目指す。</li> <li>・別添にて目標値の考え方を整理。</li> </ul>	資料 3  第 6 章  資料 3 資料 3 資料 3 資料 3
高木委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国が定めている目標値と県が独自で定めているものの区分整理を。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別添にて目標値の考え方を整理。</li> </ul>	資料 3
大島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村としては、県と連携していくが、県で具体的に強固に示されると、市町村毎の方策もあり困惑するところ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村からの意見聴取は法定事項。中間報告後に市町村への意見照会を行い、計画への反映を検討。</li> </ul>	

委員名	発言項目等	計画等における対応案	本文掲載箇所
浅利委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発災すると中小規模の市町村においては県との連携が必要になる。県が強く入っていくオプションがあってもよいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、国と連携し、県下市町村で災害廃棄物処理計画案を策定するモデル事業を実施しており、引き続き、国と連携して市町村支援を実施。</li> </ul>	第5章
磯貝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3章にある取組目標の「もったいない」は食ロスには当てはまると思うが、それ以外の課題に対しては、そぐわないのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御意見を踏まえて修正。</li> </ul>	第3章
美谷島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組目標は、SDGs や持続可能、資源循環などの大きなスパンで考えることはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御意見を踏まえて修正。</li> </ul>	第3章
浅利委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組目標は地域循環共生圏の趣旨を考えると地域で考えていくということなので、信州やくらし、スマートライフというようなキーワードがあるとよいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御意見を踏まえて修正。</li> </ul>	第3章
窪田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境認証取得に関し、取得だけを目的とせず、広く活用できるように取り組んでいる。グループ認証のような形で負担を減らす方法も。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境認証取得のメリットを研修会等を通じて周知を実施。</li> </ul>	
宮澤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ袋をバイオマスプラスチックに替えていくことを例に挙げているが、こういった形で例示いただくと取り組みやすい。</li> <li>・県内でバイオマスプラスチックを使用したごみ袋を導入している市町村はあるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御意見を踏まえて掲載を検討していく。</li> <li>・別添調査結果のとおり。</li> </ul>	資料2
美谷島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの減量によって社会がどう変わるか目的意識を持たせるイメージがあるとよい。</li> <li>・フードバンク活動を行う企業への後押しがあるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6章（地域循環共生圏）で記載。</li> <li>・御意見を踏まえ、今後、関係部局と連携して施策への反映を検討。</li> </ul>	第6章
浅利委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コラムを入れるなど内容にメリハリがあるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御意見を踏まえ次回以降に提示する。</li> </ul>	